

平成31年2月定例会
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会

育基本計画であげるかあげないかの選択と前回の第2次教育振興基本計画と同じキャッチフレーズにするのか？第3次教育振興基本計画として6案の中から選ぶか、いくつかのパターンがある。

芥川委員

簡単なものが目につく。覚えやすいものが言いやすい。

太田教育長

案2の「郷土を愛し、学びあい、つながり合う、未来を担う人づくり」にしてはどうか。

近藤委員

案2は、文化、学校でのコミュニティ、生涯活動など教育に関する分野を網羅している。

岩村委員

キャッチフレーズは第2次教育振興基本計画と同じでいいと思う。

学校教育課長

基本理念「郷土を愛し、学びあい、つながり合う、未来をにう人づくり」、キャッチフレーズは「未来へ漕ぎ出す うとん教育羅針盤」に決まりました。

【虐待について】

近藤委員

総合教育会議でもあったが、虐待について対応はどうなっているか？点検や虐待の疑い等も兼ねて、対応策等は？

指導主事

調査するような文書はまだきていない。学校としては、健康観察や体重測定等で分かれば、すぐにあげてもらおうようにしている。心のアンケートが11月にあっている。それにも記入するようになっていいる。今のところ0である。子どもが親からのDVにあっているというケース会議の中では、4件あった。その中でも現在は問題ないということであった。今後も子育てとの連携をしながら、見ていく。

近藤委員

県から通知が来ると、何かしないといけないと思う。

太田教育長

そうであると思う。何か照会をする等の対応をしないといけないと思う。

園田委員

親は子どもに教育を受けさせる義務がある。不登校や学校に来ることができない子どもに対しても、教育を受ける権利がある。いろいろな物が買えない子どもがいる。勉強する状況がない子どもたちを、担任はしっかり見る必要がある。

太田教育長

不登校については、定例報告であがってくる。全欠の子どもは必ず、月に1回は目視し、健康であるかの確認を取るようになっている。不登校について、各学校でも対応はされていると思う。全体的な組織として取組はしていただいている。熱心な先生は、朝早く家に行ったり、夕方も行ったりなどされている。

園田委員

先生によって、意識が違うので、学校全体で組織としてかかわって欲しい。

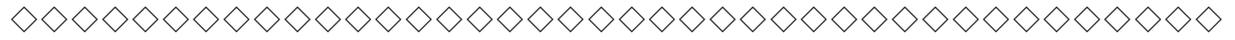
太田教育長

組織としての対応ということで、学校まかせになっている。学校によっては、民生委員や地域の方々に、不登校の状況の話をして、見に行くなど協力をされているところもある。すべてではない。そういう

ところは教育委員会として、お願いしていかなければならないと思う。

【宇土小のグラウンドネットについて】

近藤委員 宇土小のグラウンドネットがかなり老朽化している。下の方は破れていて、ボールが外に飛んでいっている。この前もハンドボールが外に出て、高齢者にあたったのを見た。子どもたちが野球ボールを外に取りに行く際、横断歩道もないところを横切っていっていた。危険である。早めに対応をしてほしい。



太田教育長 本日の日程は全て終了しましたので、平成31年2月の定例教育委員会を閉会します。

— 閉会 —

(午前11時48分)

議事録署名

委員 園田 寛子

委員 近藤 修